

中央広域環境センターでのごみ処理に伴う説明会（第3回分野別）資料

令和7年7月5日（土）

1. 中央広域環境センター跡地利用について

（1）土地

用 途	所 在	地目	地積(㎡)
中央広域環境施設 組合敷地	阿波市吉野町西条字藤原70番1	宅地	13,363.72
	阿波市土成町宮川内字古田160番1		21,911.83

（2）建物

建物の名称	構 造 等	延床面積(㎡)
管理棟	鉄骨造	837.91
工場棟	鉄筋コンクリート造・鉄骨造	11,558.99
車庫・倉庫棟	鉄骨造	459.06
計量棟	鉄骨造	108.30
ブロワ棟	鉄骨造	96.69
酸素棟	鉄骨造	365.52
スラグ貯留場	鉄骨造	369.60

（3）解体工事の着手時期

管理棟を除くごみ処理施設解体工事については、令和11年3月31日までに着手する。



2. 協定等について

中央広域環境センター稼働前に、
①合併前の吉野町、土成町
②吉野町の2団体、土成町の13自治会 と覚書・協定書を締結しています。

主な内容は、次のとおりです。

- 施設の稼働期間は20年間。
- 20年後には吉野町・土成町以外の町村へ施設を建設する。
- 稼働期間終了の5年前より計画・協議を開始する。
- 施設の運営にあたり公害関連諸法令に定める排出基準を遵守し、周辺地域の生活環境や農作物に影響を及ぼさないようにする。

令和7年8月以降の取扱
稼働前に締結した協定書等については、稼働期限や焼却処理に関する事項を除き、積替保管期間中も継続していることとして、取扱いさせていただきたいと考えております。



令和7年8月以降の協定は、中央広域環境施設組合と阿波市の間で締結し、過去に協定を締結している自治会等と、同様の協定書を締結させていただきたいと考えております。

主な内容は、次のとおりです。

- 令和7年8月以降は、ごみの焼却処理は行わない。
- 令和7年7月末日までに焼却処理できないごみは、積替保管し施設外に搬出して処理。
- 積替保管後、施設外に搬出しての処理は、令和10年3月31日まで。
- 施設の運営にあたり公害関連諸法令に定める環境基準を遵守し、地域住民の生活環境や周辺地域の農作物に影響を及ぼさないようにする。
- 施設から発生するごみ処理に伴う排水については、無放流とし施設内で循環利用を行い、処理できない排水に関しては外部処理を行う。敷地内の雨水及び生活排水は、放流基準を遵守し放流する。

中央広域環境センターでのごみ処理に伴う説明会（第2回分野別）資料

令和7年7月2日（水）

1. 中央広域環境施設組合周辺地域活性化交付金について

- （1）交付主体 中央広域環境施設組合
- （2）交付期間 令和9年度まで
- （3）交付対象 中央広域環境センターから半径1.5km以内で要綱の別表に掲げる自治会
- （4）交付金額 1 自治会あたり4万円＋500円×世帯数（毎年4月1日現在）

2. 周辺対策事業について

- （1）実施主体 阿波市
- （2）実施事業 道路改良、集会所整備、公園整備など
- （3）実施区域 土成町：中央広域環境センターから半径1.5km区域
吉野町：吉野町全域
- （4）事業費 令和10年3月までの2年8ヶ月間の延長利用について3億円

中央広域環境施設組合周辺地域活性化交付金交付要綱（抜粋）

（趣旨）

第1条 この告示は、中央広域環境センター（以下「環境センター」という。）の周辺地域と連携し、地域活動の促進と地域の活性化を図るため、管理者が交付する中央広域環境施設組合周辺地域活性化交付金（以下「交付金」という。）の交付に関し必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この告示において「自治会」とは、阿波市において認められた一定の区域内の住民によって地縁等に基づき形成された地域的団体をいう。

（交付金の交付対象）

第3条 交付金は、環境センターから半径1.5キロメートル以内の別表に掲げる自治会に交付するものとする。

2 前項に規定する交付金の対象となる経費は、自治会の活動及び運営に資するための経費とし、次に掲げる事業に使用するものとする。

- (1) 地域の活性化及び良好な地域社会の維持に関する事業
- (2) 環境の保全に関する事業
- (3) その他管理者が必要と認める事業

（交付金の額）

第4条 交付金の額は、毎年度予算の範囲内において自治会ごとに次に掲げる額を合計した額を上限額とする。

- (1) 4万円
- (2) 交付を受ける自治会に加入する毎年4月1日現在の世帯数に500円を乗じて得た額

別表（第3条関係）

地区名	自治会名
吉野町	北原、東姥御前、西姥御前、岡西、藤原北、中小路、ノタ原、西大竹、藤原中、藤原南、藤原東、床石、野田原団地、新開地
土成町	熊ノ庄、本郷、林東、林南、林西、山王子、下藤原、中藤原、上藤原南、上藤原北、神田、渋毛東、渋毛西、出口、旭、北門

中央広域環境センターでのごみ処理に伴う説明会（第1回分野別）資料

令和7年6月29日（日）

1. 新ごみ処理施設及び積替保管施設に関する経過

平成30年8月	阿波市・板野町・上板町で構成する「新ごみ処理施設整備検討会」を発足
令和元年12月	ごみ処理方式を「燃料化方式」に決定
令和3年3月	最有力候補地として「阿波市阿波町東長峰」に決定
令和3年4月～	候補地周辺の自治会に対し説明会開催・先進地視察
令和4年2月	事業方式を「公設民営（DBO）」に決定
令和4年10月	総合評価一般競争入札により、新ごみ処理施設整備・運営事業の入札を公告したが、入札参加受付期限までに、参加を申し出た事業者が無かった
令和5年10月	事業方式を「公設民営」から「公設公営」に変更することを決定
令和6年3月	2、3日、中央広域環境センター周辺住民説明会（第1回） 21～31日、新ごみ処理施設周辺7自治会説明会 【新ごみ処理施設周辺7自治会より建設に関する同意が全て得られた】
令和6年5月	18、19日、中央広域環境センター周辺住民説明会（第2回）
令和6年9月	28、29日、中央広域環境センター周辺住民説明会（第3回）
令和7年2月	新ごみ処理施設のごみ処理方式を 「好気性発酵乾燥方式＋固形燃料化（燃料化方式）」から 「好気性発酵乾燥方式＋ケミカル/マテリアルリサイクル」に変更
令和7年2月 ～3月	2月18日～3月30日、新ごみ処理施設周辺7自治会説明会
令和7年5月	24、25日、中央広域環境センター周辺住民説明会（第4回）

2. 新ごみ処理施設及び中央広域環境センターの稼働予定スケジュール

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
新ごみ処理施設				新施設稼働
業者選定・整備工事・試運転	業者選定 整備工事		試運転	
中央広域環境センター				
ごみの焼却処理	焼却処理			
ごみの施設外搬出		施設外搬出		

令和7年8月

中央広域環境センターでの積替保管の概要

- ① 積替保管施設の考え方
- ア ピット前スペース（プラットホーム）を有効利用する。
 - イ コンベア：2基 4tリフト：2台 バックホー：2台 使用
 - ウ ごみ収集車両から「可燃ごみ」を荷下ろし後、コンベアを利用して水密容器（内容量 7m³、約2t）に投入し、重機で容器の中の「可燃ごみ」を押し込む。リフト作業により、随時容器の入れ替えを行う。



コンベア



- ② 積替保管場所等における臭気対策について
- ア ごみ収集車の出入り口（3か所）に設置している既存のエアカーテンに加え、噴霧器を設置し、消臭剤を噴霧する。
 - イ コンベアに噴霧器を設置し、直接「可燃ごみ」に消臭剤を噴霧する。
 - ウ 水密容器に蓋をし、当日又は翌日までに搬出する。

- ③ ごみの運搬方法について
- ア 最大 13t 積車（ウイング車）7台使用
 - イ 1台につき水密容器（7m³、約2t）5基を、リフト作業により積み込んで搬出する。
最大搬出量 70t／日



水密容器

